



貨客混載と地元産品による バス路線の活性化

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾
2020 トライアル編 1班 まち分野

【田村市】	二瓶幸也	【郡山市】	原 貴史
【須賀川市】	相川貴之	【二本松市】	永久保早紀
【田村市】	遠藤慶記	【石川町】	古寺里冴



リサーチ編における提案内容

提案内容①

○ニッチに対応したマイクロツーリズム

↳こおりやま広域圏内の人へ向けたマイクロツーリズム
機会の提供



提案内容②

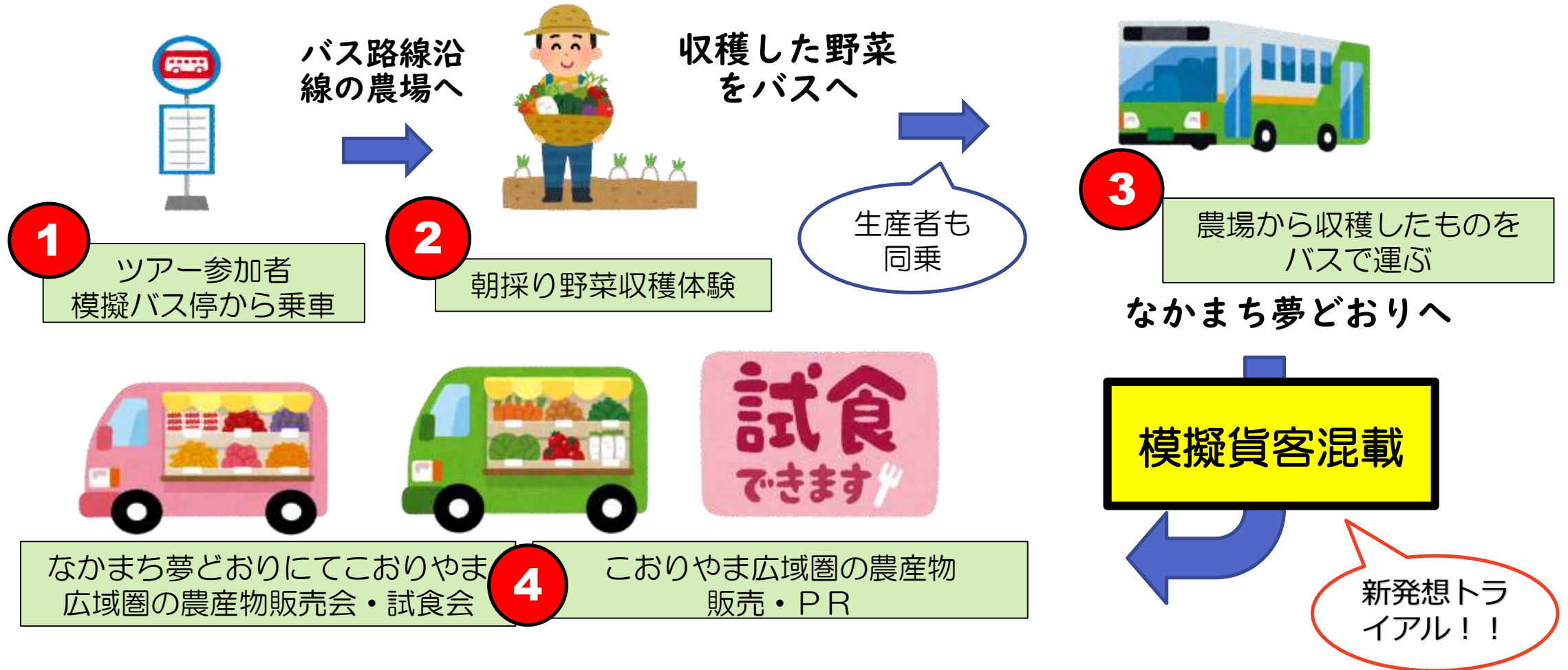
○貨客混載による新たな市場開拓

↳郡山市内においては実際の路線バス沿線を路線バスを
仮想した車両を運行、郊外から駅前に産品を輸送。

↳こおりやま広域圏内からは各自治体の公用車をバスと
仮想し郡山市の活況なところで地元産品をPR。

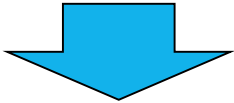
トライアル編試行内容

かきやくこんさい 果・客・根・菜 バスの運行



期待される政策効果

- ・交通プラスαの付加価値によって、新たな公共交通利用ニーズの創出
- ・こおりやま広域圏内の生産者を通じた交流促進と地域製品のPR



- ・公共交通での新たな収益確保→バス路線維持による住民の足の確保
- ・移動制限がある中でのマーケット開拓・こおりやま広域圏の周知拡大

